

記者発表（資料配布）				
月／日 （曜）	担当課 係名	T E L （内線）	発表者名 （担当係長）	その他の発表 配布先
7／9 （水）	大気課 大気環境係	078-362-3285 （3368）	大気課長 園田 竹雪 （大気環境係長 津田 稔）	阪神北県民局 東播磨県民局 北播磨県民局 中播磨県民局

第9回あおぞら大賞の受賞者の決定について

このたび、第9回あおぞら大賞（兵庫県大気環境保全連絡協議会会長表彰）の受賞者を決定しましたのでお知らせします。

兵庫県大気環境保全連絡協議会（会長：井戸 敏三 兵庫県知事）は、県民の模範となるべき大気環境保全の推進に関して功績が顕著な団体又は個人を表彰する「第9回あおぞら大賞」の授与式を下記のとおり実施します。

記

1 受賞者（五十音順）

- （1）株式会社シキトウサービス（代表：清瀬 一郎（代表取締役））
- （2）松蔭高等学校グリーンエコプロジェクト（代表：谷口 理（担当教諭））
- （3）宝塚市中山台自治会（代表：石原 愷）
- （4）東播磨地域地球温暖化防止活動推進連絡会（代表：竹重 勳）
- （5）株式会社松下エコテクノロジーセンター（代表：富田 和之（代表取締役社長））
- （6）兵庫県立三木北高等学校環境研究部E C O ♪ P（代表：樫 千種（顧問教諭））

2 表彰式

- （1）日時 平成20年 7月10日（木）午後 2時15分□
- （2）場所 兵庫県中央労働センター 大ホール（神戸市中央区下山手通6丁目3-28）

第9回あおぞら大賞受賞者

(※五十音順)

● 株式会社シキトウサービス

環境問題への対応に早くから積極的に取り組み、平成12年度より継続して低公害車両への代替を促進。さらに既存のディーゼル車へのバイオマス燃料の使用、環境負荷の少ない事業運営を認証するグリーン経営の取得など、地球温暖化防止エネルギー源の多様化・循環型社会の形成に、社を挙げて取り組んでいる。

平成19年6月には兵庫県より経営革新計画の承認を受け、荷主企業に対し倉庫・配送部門の省力化・効率化を提案、設備の機械化・電子化により、女性や高齢者でも働きやすい職場環境を整備した総合物流センターを新設し、「トラック運送事業」から「総合物流企業」への転換を図っている。

● 松蔭高等学校 グリーンエコプロジェクト

企業と連携した環境保全活動を生徒主体で実施するなど高等学校における環境教育の模範となる先進的かつ独創的な取り組みを推進してきた。

「企業と連携して間伐材を利用した割箸（エコ箸）の作成配布」「神戸市内の百貨店におけるエコ工作教室などの開催」「企業から出資を募り特製マイバッグを作成」「エコバッグに地球温暖化防止メッセージカードを入れ配布」「マイボトル貼り付けステッカーを企業の協力で作成配布」などの取り組みは、NHKをはじめ新聞テレビ等で取り上げられ、また、経済産業省からキャリア教育先進事例に指定されたことから、各地で講演や事例報告依頼を受けるなど、全国から注目されている。

● 宝塚市中山台自治会

「次世代の子ども達のために」をスローガンに、自治会全世帯から排出されるCO₂を2010年までに14%削減することを目標に掲げ、地球温暖化防止活動に自治会が一体となって取り組んでいる。

平成18年に自治会独自で調査を行い、その調査結果に基づき、徹底した「省エネ」、「省資源」を盛り込んだ自治会独自のCO₂削減マニュアルを作成し、現在40世帯以上において、マニュアルに基づき定量的な省エネ、省資源の取り組みを実施している。取り組みの結果、ごみの発生量は20%削減し、500本の植樹が実施された。

平成20年度には100世帯でのCO₂削減を目指し自治会内での取り組みの環が広がりつつある。

● 東播磨地域地球温暖化防止活動推進連絡会

平成14年11月に発足以後、県や市町と連携して、東播磨地域における家庭部門の温暖化対策を中心に省エネ活動を実践し、また、環境展など各種イベントへ積極的に参加するなど温暖化防止の普及啓発活動に取り組んできた。

平成19年度からは、県のキャンペーンに積極的に参画するほか、紙芝居による夏休み親と子の環境教室や小学校・幼稚園への出前教室をはじめ、加古川クリーンウオーク、東播磨打ち水大作戦、省エネ家電普及促進協定店調査、アイドリングストップ啓発などの地域と密着した活動を積極的に行っている。

特に、ペットボトルを活用した風力発電工作教室、太陽光オルゴール作り教室、温暖化防止に役立つとされるケナフを教材とした教室の開催などの活動は、次代を担う子供たちに環境問題を考えさせるきっかけとなる取組であり、他の地球温暖化防止活動推進連絡会の活動の規範となっている。

● 株式会社松下エコテクノロジーセンター

家電リサイクル法の施行に合わせ、家電4品目のリサイクル工場として、平成13年4月1日に操業を開始し、自社製品だけでなく、グループ20数社の製品の再商品化を実施することにより、再資源化に伴うCO₂の発生抑制に貢献した。研究部門が併設され、リサイクルしやすい商品化づくりに反映させるなどリサイクル技術の開発に積極的に取り組んできた。

現在、約8割が資源として回収されているが、廃棄物として処理される混合プラスチックダストから金属を回収する技術を開発する等、マテリアルリサイクルを追求する実証型実験工場として、家電リサイクルにおけるゼロエミッションを実現するために貢献してきた。

見学者の安全を考慮した見学できる施設として設計され、一般市民や、小中学生などの環境教育の場として提供するなど地域に開かれた施設として環境学習・教育にも積極的に取り組んでいる。

● 兵庫県立三木北高等学校環境研究部E C O ♪ P

地元商店街とともに地域活性化と連動させた「マイバッグ運動」を提案、この運動に参加したコープこうべ三木緑が丘店ではマイバック持参率95%を達成。この取組は三木市を動かし、コープこうべとマイバッグ協定を締結するに至った。平成19年8月に実施した「マイうちわなごみの夕涼み」では、市役所や市内の事業所50団体以上の参加だけでなく、全国の大学の環境サークルなどの参加があり、マスコミに取り上げられるなど地球温暖化防止の大切さを広くPRした。

文化祭や校外において実施するイベントの模擬店では、生分解性食器を使用し、使用後は土にかえして無農薬野菜を栽培、次のイベントの模擬店で育てた無農薬野菜を販売するなど、自らも資源循環の取組を行い、地球温暖化防止活動を実践している。

平成19年度地球温暖化防止活動「知恵の環づくり」兵庫県大会で最優秀賞を受賞。兵庫県代表として全国大会にも出場した。

[過去の受賞団体]

第8回あおぞら大賞受賞団体

- ・稲美町
- ・環境を考える会“ゆりのき”
- ・兵庫パルプ工業株式会社
- ・株式会社フェリシモ

第7回あおぞら大賞受賞団体

- ・伊丹環境ネットワーク
- ・環境ネット出石
- ・篠山市地球温暖化防止活動推進連絡会
- ・氷上郡自動車車検センター協同組合

第6回あおぞら大賞受賞団体

- ・金田運輸株式会社
- ・豊岡環境衛生推進協議会
- ・ネスレマニュファクチャリング株式会社姫路工場

第5回あおぞら大賞受賞団体

- ・株式会社神戸製鋼所加古川製鉄所
- ・清滝緑の少年団
- ・緑の環境クラブ

第4回あおぞら大賞受賞団体

- ・川西自然教室
- ・関西電力(株)姫路第一発電所
- ・子午線ケナフの会
- ・NPO法人ひょうごエコ市民ネットワーク
- ・姫路市立青山小学校

第3回あおぞら大賞表彰団体

- ・淡路女性団体連絡会
- ・(株)摂津
- ・(株)丸三レンタ・リース
- ・環境21の会
- ・キリンビール(株)神戸工場

第2回あおぞら大賞表彰団体

- ・アサヒビール(株)西宮工場
- ・かさい夢っこクラブ
- ・(株)神戸製鋼所高砂製作所
- ・(株)ダイエー・ロジスティクス・システムズ神戸流通センター
- ・(社)姫路青年会議所
- ・ふるさと香住塾

第1回あおぞら大賞表彰団体

- ・明石魚住ライオンズクラブ、浜西高年クラブ
- ・伊丹市
- ・大阪ガス(株)姫路製造所
- ・加古川市環境保全研究会
- ・(株)コープムービング

◆ あおぞら大賞について

平成12年度に創設し、毎年1回表彰を実施し、今回は第9回目である。

◆ 兵庫県大気環境保全連絡協議会について（平成4年6月2日設立 会長：井戸 敏三 兵庫県知事）

大気環境の保全を図るため、県民、事業者、行政が一体となり実践活動をしている団体
（会員数 509 会員）

（1）主な活動内容

- ①普及啓発：アイドリングストップ推進県民運動など
- ②情報交換：講演会の開催など
- ③支 援：各種の環境事業活動への支援
- ④そ の 他：機関誌「あおぞら」の発行（年2回）、ひょうごエコフェスティバルへの参加等

（2）表彰式当日、同協議会の定期総会及び記念講演が行われます。

- ①日時：平成20年7月10日（木）14:15□ 16:00
- ②場所：兵庫県中央労働センター 大ホール（神戸市中央区下山手通6丁目3-28）
- ③次第：
 - ・ 議事（事業報告、決算、事業計画、予算など）
 - ・ 記念講演（15:25□ 16:45）『カーボンオフセット □ 新しい価値の提案□ 』
講師（株）PEAR カーボンオフセットイニシアティブ代表取締役 松尾直樹 氏

松尾 直樹（まつお なおき）氏 プロフィール

大阪大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程修了、理学博士（理論物理学）
京都大学数理解析研究所研究員、日本学術振興会特別研究員、(財)日本エネルギー経済研究所、(財)地球環境戦略研究機関、(財)地球産業文化研究所を経て、2002年9月に(有)クライメート・エキスパートを立ち上げ独立。ビジネスの観点から多くの企業などを対象に温暖化問題のアドバイザー業務を行う。また、消費者向けカーボンオフセットプログラムPEARを、途上国の貧困地域などのマルチ便益型プロジェクトとのセットにおいて立ち上げる。（新環境付加価値の提案）

※ 記念講演については、一般の方もご参加いただけます。